

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-⑧	災害に強いまちづくりを推進する	まちづくり政策部、土木部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
緊急輸送路等にかかる橋りょうの耐震化進捗率	%	50	50	57	70		70
国道に埋設されている公共下水道施設の耐震化進捗率	%	13	13	13	14		29
建物の耐震化に関する補助制度周知数 (年間)	回	8	9	16	17		15
土のうステーションの設置数	箇所	9	11	11	11		12
関連事業							
○橋りょう震災対策事業○公共下水道管路地震対策事業○公共下水道整備事業○建物の耐震性向上促進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費(千円)	1,060,325	490,016					
執行率(%)	81.49	49.64					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●岡崎大橋、北野橋、大縄橋、車橋の落橋防止装置設置工事、上吉沢3号橋、鷹匠橋の耐震補強設計及び小川跨線橋の詳細設計を行い、震災時における落橋を防止したほか、「平塚市橋りょう耐震化計画」の策定を通じ、橋りょうの耐震化を推進しました。</p> <p>●下水道総合地震対策計画に基づき、国道1号内に埋設されている管渠の耐震化が32m完了したほか、42mの耐震化工事の発注を行い、耐震化を進めました。</p> <p>●平塚市総合浸水対策基本計画の重点対策地区に位置づけられている岡崎、新町地区の雨水管整備472mを完了させるとともに、岡崎、横内、新町地区の雨水管渠工事570mの工事を発注することで、浸水対策を推進しました。</p> <p>●耐震相談会等の普及啓発活動を17回行い、加えて戸建て住宅への各戸訪問を通じて、木造住宅の耐震化を推進しました。耐震診断70件、耐震補強設計26件、耐震補強工事23件の補助金を交付しました。また、耐震診断を義務付けた沿道建築物3棟に対し、耐震診断に対する補助金を交付しました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●緊急輸送道路等に架かる橋りょうを「平塚市橋りょう耐震化計画」に基づき、優先度を勘案して計画的に耐震化を進める必要があります。 ●国道1号の耐震化工事は、道路管理者や交通管理者との協議において、交通の安全確保や渋滞対策など施工に対し、施工時間や車線規制などの多くの制約を受け、施工費が高額となります。 ●近年頻発する局所的な集中豪雨に対し、緊急かつ効率的に浸水被害の軽減を図る必要があります。 ●建物の耐震化を進めるためには、補助制度等のPR活動を通じて、耐震化の必要性について市民の理解を促す必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震による落橋や倒壊などを防止するため、現在の耐震基準に基づき、優先度の高い橋りょうから長寿命化修繕との調整を図り、設計委託や補強工事を行います。 ●下水道総合地震対策計画に基づき、着実に管路の耐震化を進めるため、道路管理者および交通管理者と協議を重ね、施工範囲や発注方法など事業の効率化を図ります。 ●被害の状況や特徴に対応した浸水対策を実施するとともに、河川管理者と連携し、浸水被害の軽減を図ります。 ●住宅耐震化の啓発活動として、住宅耐震相談会等を実施するとともに、職員による木造住宅への戸別訪問を行います。また、沿道建築物の所有者と、耐震化に向けた協議を進めます。